| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和３年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育　女子 | 単位数 | ３単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 大修館　現代高等保健体育 | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

## 2　学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に着ける。
・運動の楽しさや喜びを味わう中で、運動技能を高めていくことができるようにする。
・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面や日常生活でも生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:運動の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。<br>健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。<br>結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。<br>公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。 | 知識を活用し、技能向上につなげる。<br>自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。<br>体力や技能向上をするための計画を考えたり、互いに学んだことを教え合ったりすることができる。 | 記録や技能向上に挑戦する。<br>運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。<br>仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。 | 運動の技術の名称やゲーム･テストの行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康･安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。<br>スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | 出席・参加状況<br>受講態度の記録・観察 | 準備や片付けの協力<br>生徒間同士の教え合い<br>受講態度の記録・観察 | 技能観察<br>技能テスト | レポート<br>体育理論のテスト |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期中間考査まで | 球技 | バレーボール | ○ | ○ | ○ | ○ | a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、ルールやマナーを守り、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:自己の課題に応じた運動の取り組み方について考え工夫して練習している。<br>c:各球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。<br>d:技術や技の名称や行い方、ゲームを実施するためのルールや審判の方法などを理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |
| | | テニス | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | サッカー | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 1学期末考査まで | 球技 | バレーボール | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | テニス | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | サッカー | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 水泳 | クロールの復習<br>背泳 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができる。マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすること、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。<br>d:技術の名称や行い方、事故防止の観点を理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期中間考査まで | 水泳 | 背泳 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:水泳の楽しさや喜びを味わうことができる。マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすること、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付けている。<br>d:技術の名称や行い方、事故防止の観点を理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |
| | 球技 | ソフトボール | ○ | ○ | ○ | ○ | a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、ルールやマナーを守り、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:自己の課題に応じた運動の取り組み方について考え工夫して練習している。<br>c:各球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。<br>d:技術や技の名称や行い方、ゲームを実施するためのルールや審判の方法などを理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |
| | | 卓球 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | バスケットボール | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 2学期末考査まで | 球技 | ソフトボール | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 卓球 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | バスケットボール | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学年末考査まで | 陸上競技 | 長距離走 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:種目の楽しさや喜びを味わうことができるように自己の課題をとらえ、マナーやルールを大切にしようとするし、自主的に取り組もうとしている。<br>b:生涯にわたって種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c:種目の特性に応じた、種目特有の技能を身につける。<br>d:技術や技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法を理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |
| | 球技 | バドミントン | ○ | ○ | ○ | ○ | a:球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、ルールやマナーを守り、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:自己の課題に応じた運動の取り組み方について考え工夫して練習している。<br>c:各球技の特性に応じてゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間との連携した動きを身につけている。<br>d:技術や技の名称や行い方、ゲームを実施するためのルールや審判の方法などを理解している。 | ・出席・参加状況<br>・受講態度の観察<br>・準備・片付けの態度の観察<br>・レポート<br>・技能観察<br>・技能テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。